



外国人の暮らしと私たち

- 国分寺市国際協会インタビュー
 廣田昌子さん 2～3
- 習慣の違い 趙敏さん 4
- お弁当という文化
 チャン・ホアン・チュンさん 4
- 技能実習制度とは 5
- DVコラム『なぜ「加害者更生支援」か』 5
- あしあと 梅田桂子さん 6
- ライツこくぶんじ ライブラリーニュース 7
- 日本のジェンダーギャップ指数
 153 か国中 121 位に転落 8
- 編集後記 8

外国人の暮らしと私たち

まちや職場などで外国人と接する機会が増えました。身近なところで、よりよい関係を持つにはどうしたらよいのでしょうか。

国分寺市国際協会

インタビュー

1991（平成3）年設立の国分寺市国際協会（以下国際協会）で30年近く国際交流活動を続けてこられた廣田昌子さんにお話を聞きました。

2019年12月6日



国際協会
広報部会長
ひろたまさこ
廣田昌子さん

学び合う関係

国分寺市に住む外国人が増えて、国際協会の会員、日本語教室の参加者も

増えています。教室は昼と夜のクラスがあり、夜のクラスでは現在15か国37人の外国人の人が学んでいます。やさしい日本語を使用して学習を進めています。ボランティア活動を通して、私たちがたくさんの方のことを外国の人たちから学んできました。外国の人が講師となる教室は、世界の家庭料理を楽しむ会、中国語講座、ニュースで学ぶリアルな英会話、英会話教室などがあります。また、いろいろな国を知るために国際理解講座を開催しています。

お互いに理解し合う

以前、来日数か月の若い人で、日本について先入観を持っていたのか厳しく批判する人がいました。毎週、議論して向き合い、5週目にその人がガラ

ッと変わったのです。「日本に来て、あなたのように厳しく言われたのは初めてだ」ということでした。それからいい関係になりました。自分の思っていることを相手にきちっと伝えるほうがいいと思いました。

険悪な雰囲気になることを恐れがちですが、日本の習慣は他の国では違うかもしれないのです。国によって、文化・気候風土、生活習慣も違うことをお互いに理解しながら交流することが、国際交流につながると思います。

習慣の違い

昼食は学校で買ったり、家に帰って食べたりする国もありますので、お弁当を知らない国の人もいます。料理交流会を開いて一緒に作りながら子どもことや、赤ちゃんの離乳食のことなど外国の若いお母さんから普段の生活で困っている話なども聞きます。

以前、イスラム教徒の男性から仲人？を頼まれたときは驚きました。女性と付き合うとき、母ともう一人年上の女性を伴って女性の家に行き、交際

を申し込むとのこと、これは日本になり習慣です。

毎年11月に開催する国際交流フェスタでは、防災クイズを通して、防災に関する啓発活動をしてきました。また、日本語教室でも、防災や火災の場合の緊急時の訓練を市担当課の職員や、消防署員のご協力をいただき実施しています。地震や火事の際の行動について学びます。

学校生活が大変

外国の保護者にとって難しいのは「学校のお知らせ」のようです。要求されていることが理解出来ないのです。そのため日本語教室などで、気軽に聞けるような関係を作っています。



日本語教室の様子

また毎年、子ども小学校入学前に準備する約60点の実物を並べて、外国籍保護者

のための入学ガイダンスをしています。上履き、防災ずきん、連絡帳などや学校行事についても説明します。

子どもにとって日常会話は出来るようになっていても、学習言語はまた違います。

学校に向き学習支援をすることもあります。

国際協会とつながる

国際協会のホームページをリニューアルし、フェイスブックも始めました。

日本語教室には女性のボランティアが多いのですが、最近、男性が増えていきます。仕事以外に使える時間が増えた人、定年後の人、海外生活経験のある人などです。

東京経済大学の学生たちも、イベントに協力してくださいます。企画会議への出席や、当日、子連れの人が参加できるようにと、キッズコーナーを引き受けてくれたりしています。

私たちのできること

近所に外国の人が住んでいたら、会

った時に、「こんにちは」「元気ですか」「暑いですね」「寒いですね」と普通にあいさつするのがいいです。主語をはっきりさせて、やさしいことばで、短い文で話すようにします。プライベートなことはあまり聞かないようにします。

実際に近所の人「どこから来たの」など話しかけてくれて、日本語の力がついたら外国の人もいるようです。

子どもたちには、外国の人と話したりすること、いろいろな国のことを知ることが出来、言葉は違うけれどもみんな同じ仲間、クラスに外国の子どもがいたらお友だちになってね、と伝えたいです。以前、子ども向けの講座でオランダの人が、オランダは国土が海面より低いので、町の周りを堤防が囲んでいると話をしますと、子どもたちは目を輝かせて聞いていました。

国分寺市国際協会

The Kokubunji International Association

国分寺市光町1-6-8

ひかりプラザ1階

☎ 042 (505) 6132

HP : <http://www.1991kia.jp/>

習慣の違い

趙 敏（ちよう びん）さん

20代（中国）



2017年に日本に came ました。ある大学の大学院で学び、2019年に卒業しました。同年、IT関連の

会社に就職し、国分寺市に住んでいます。

日本に came 理由は、日本が好きだったことと勉強をしたかったことです。

会社のなかでは英語で仕事をしていきますが、日本人のスタッフとは日本語で会話をしています。日本語がまだ不十分なため、迷惑をかけているのではないかと心配していますが、いずれは日本語で仕事ができるようになりたいと思います。

現在の仕事は、自動車の自動運転プログラムを作成です。人々の生活を豊かにしたい、生活向上に役立ちたいと思っていましたので、好きな仕事に就くことができ満足しています。家を借りる時は会社の保証があったため、スムーズに借りることができました。

国分寺市は、静かな生活環境でとても過ごしやすいと思います。暮らしのルールなどは、市役所で3か国語（英語・中国語・韓国語）のパンフレットをいただいたので、よくわかりました。

日本の生活で困っていることは、銀行と病院が土曜日、日曜日休みなことです。習慣の違いで驚いたことは、麺類を食べる時にすすって大きな音を立てることです。昼は、会社でランチをとりますが、朝食夕食は自炊をします。

人と人との関係の距離を取る日本では、会話は本音と建前など社交辞令があるのととても難しいです。たとえば、おうちに誘われた時はどちらかなと考えることがあります。

私はクラシック音楽がとても好きです。SNSで知り合ったいろいろな国の友だちがいますが、みんなが集まって音楽を楽しんでいます。ピアノを弾く人、歌う人、私はそこでサックスを演奏しています。

日本語教室に通っていますが、これからもっと上達して、社会に貢献したいと思います。

お弁当という文化

チャン・ホアン・チュンさん

20代（ベトナム）



私は、技能実習生として、立川市にあるお弁当を作る会社で働くために、2018年10月に、ベトナムのホーチミン市から came ました。会社の寮で、同じくベトナムから came 仲間二人と一緒に住んでいます。寮から会社までは自転車です。

外食店を利用するベトナムには、お弁当という文化がありません。また、日本の料理はみりんなど調味料がたくさんあり、ベトナムにはない調味料も多いので難しいです。でも、それを使ってもとてもおいしいと思います。

仕事は土曜日と日曜日が休みです。土曜日の午前、午後、ほかに月曜日と火曜日の夜も日本語教室に通っていて、国分寺市福祉センターの他、立川市、国立市にも通っています。

日本語は聞き取るのが大変です。たとえばあいさつ。ベトナムでは言葉を使ってあいさつするのではなく、頭を下げる程度ですが、日本では「おはよ

技能実習制度とは

う」「こんにちは」「こんばんは」「おつかれさま」などがあります。ほかに、「いただきます」「ごちそうさま」「すみません」「ごめんなさい」など、使い分けることがとても難しいと思います。日曜日はゆっくり寝ていて、電車で出かけることはありません。最初のころは電車に乗るのも難しく、散歩してました。寮の近くの昭和記念公園の紅葉がとてもきれいです。ベトナムには緑の多い場所がありません。いつか北海道へ行ってみたいと思っています。日本へ来て初めて雪も経験しました。楽しみにしていたのですが、実際には寒いし大変でいやだなと思いました。大きな台風が来た時にはおかしなことなのですが少しワクワクしてしまいました。

日本の会社組織は、仕事で分からないことを担当以外の部署の上役に聞いても教えてもらえないことがあり、そこは難しいと感じます。ですが、基本的に日本の人はみな優しく、聞けば教えてくれます。

もっと日本語でおしゃべりしたいので、たくさんの人に話しかけてもらいたいと思います。

国際貢献のため、開発途上国などの外国人を日本で一定期間(最長5年間)受け入れ、我が国で培われた技能、技術または知識の開発途上地域などへの移転を図り、当該開発途上地域等の経済発展を担う「人づくり」に寄与することを目的として創設された制度です(1993(平成5)年に制度創設)。

技能実習法には、技能実習制度が、国際協力という制度の趣旨・目的に反し、国内の人手不足を補う安価な労働力の確保などに使われないよう、次のことが定められています。

① 技能等の適正な修得、習熟又は熟達のために整備され、かつ、技能実習生が技能実習に専念できるようにその保護を図る体制が確立された環境で行わなければならないこと

② 労働力の需給の調整の手段として行われてはならないこと

技能実習生は、入国直後の講習期間以外は、雇用関係の下、労働関係法令などが適用、2018(平成30)年末時点、全国に約33万人が在留しています。

※外国人技能実習機構HPから一部転載

DVコラム

なぜ「加害者更生支援」か

DV加害者更生プログラムを実施するNPOアウェアの山口のリ子代表に、現状を聞いた。

「被害者への支援が行き届かないなかで、なぜ加害者支援なのか」との声もある。印象に残った話として、決して「加害者」への「支援」ではなく加害者の「更生支援」だということ。DVをなくすため、当事者だけの問題でなく、社会問題として体系的に考えていく姿勢が日本に浸透していないとのことだ。

「最初ここを訪れる加害者は、罪の意識がない人がほとんど」と代表はいう。加害者更生プログラムでは、グループでたがいの置かれた状況について意見を言い合うなかで、客観的に自分を見つめられるように訓練していく。暴力を日常的に目の当たりにしてきた子どもは、それが当然に思っていてしまうことがある。罪の意識のない暴力の連鎖。これこそがDVがなくなるための1つの要因だ。社会全体が負の連鎖に責任を負わなければならない。

2020年1月16日、アウェアにて



©NATORI



梅田 桂子 さん
（85歳 北町在住）

私は、1934（昭和9）年に京都の向日市で生まれました。近くには桂川が流れています。小学校に入学する時は大阪府守口市に居り、小学校が国民学校と呼ばれた最初の1年生でした。

4年生の時に戦争のため、父の実家がある三重県伊勢市に疎開しました。終戦前の7月29日に伊勢市は空襲で焼夷弾が落とされ私は焼け出された人たちとお寺に身を寄せ合って暮らしていました。父は軍需関係の会社員でしたので、京都杉並区の阿佐谷に住んでいました。私は終戦後すぐ父が迎えに来るはずと

思い宇治山田駅に通って父の迎えを待ちました。東京の父の所に帰れた事はうれしかったです。

学校制度が変わり、新制中学校ができて、私は私立の中高一貫校から短大へ進学し、そこで、生活科栄養学を専攻しました。短大卒業後、銀行に就職し、24歳の時に結婚のため退職しました。

新婚生活は神奈川県川崎市登戸の自宅で始まりましたが、そこで最初の子どもを亡くし、とても辛い日々を送るうちにどこかに行きたいと思うようになり、そして住宅金融公庫（当時）に融資を申し込み購入できたのが今住んでいる国分寺市北町の家です。

子どもを亡くした経験もあったせいか子どもは大切なものと痛感しPTA会長もしたし、子どもには心を配りました。学童保育の臨時職員を7歳まで25年間勤めました。何でも話し合える夫と周りの人たちの支えがあったからこそ続けられたと思います。

また子どもがいつでもふらっと立ち寄れる場所が欲しいとの願いから、並木公民館の建設検討委員会のメンバーになりました。館内にロビーをつくり、机や椅子を並べて大人や子どもが座れるようにしましたが、建設検討委員会では活動する部屋が減ると反対意見もあり、喧々諤々とぶつかり合うこともあり、最終的には広いロビーと発表会などのできる会議室（ホール）ができ、よかったと思います。

国分寺市の住まいは選んで決めたわけではありませんが、私はどんな事も、自分でよくしていけばいいという考えです。今、近所で高齢者が増えるなかに、私も混ざっています。5年ほど前からピアノサークル「ピアノニシモ」のメンバーとして、公民館で練習しています。年に1回の公民館祭では発表会に参加しています。毎年曲目を選ぶのが楽しみです。

年表

- 1941年(昭和16年) 国民学校令 太平洋戦争開戦
- 1945年(昭和20年) 終戦
- 1946年(昭和21年) 日本国憲法公布
- 1947年(昭和22年) 新制中学校発足
- 1949年(昭和24年) 社会教育法制定
- 1963(昭和38)年 国分寺市公民館開館 (現本多公民館)
- 1964(昭和39)年 国分寺市制施行
- 1973(昭和48)年 恋ヶ窪公民館・図書館開館
- 1975(昭和50)年 光図書館会議室 (現光公民館)・光図書館開館
- 1977(昭和52)年 本多公民館が優良公民館として文部大臣表彰をうける
- 1978(昭和53)年 もとまち公民館・図書館開館
- 1988(昭和63)年 並木公民館・図書館開館

【参考】

- ・文部科学省 ホームページ
- ・国分寺市立公民館 50周年資料集 など

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディ みかこ 新潮社 2019年



イギリスの白人労働者の子どもが多く通う公立中学校とその周辺で起こることが描かれています。多様性を享受する社会が、持続性、幸福感のある社会だとすると、その対極の環境、大人たちによって分断された社会に住みながらも、子どもたちは、たくましく、友情を育む力を持っています。イギリスでコスモポリタン世代と呼ばれる10代の子どもたちが未来をひらいていきます。

ライツこくぶんじ

(国分寺市立男女平等推進センター)

おすすめ図書

ライツこくぶんじ
ライブラリーニュース

『母が若年性アルツハイマーになりました。～まんがで読む 家族のこころと介護の記録～』

Nicco ペンコム 2018年



ある日、「言われても思い出せない」という母に驚き、そこから母を看取るまでの18年間、その記録がマンガで描かれています。すべてに家族の愛情があふれています。「いつかできなくなる。でも今ではない」、にハッとさせられました。

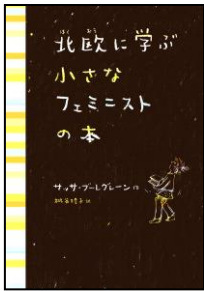
『1945年のクリスマス—日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝』



日本育ちのベアテ・シロタ・ゴードンは、連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)民政局行政部の一員として、1945年12月24日に米国から5年ぶりに日本に戻りました。翌年2月4日から12日までの9日間に、日本国憲法草案を作成するGHQの人権に関する委員会において、それに男女同権を書いた女性の自伝です。

『北欧に学ぶ小さなフェミニストの本』

サッサ プーレグレン 岩崎書店 2018年



スウェーデンの女の子エツバは、G8ジェノバ・サミット(世界の権力者たち)の写真を見て、「どうして女の子がいらないの、権力を持つのは男の人ばかりなの」と疑問を持ち、女の人の歴史を調べます。フェミニズムとは男性と女性の間に不平等があることに気づくことだと知ります。

『壊れる男たち—セクハラはなぜ繰り返されるのか』

金子雅臣 岩波書店 2006年



男性の性犯罪者たちを、男性の非として、男性の筆者がとらえます。男性に共感を求める積み重ねられた言い訳の歴史、特例事、心理・背景の分析、そしてそれらをとらえることによって、男性の既得権は崩壊します。地獄の閻魔様も興味を引く一冊です。

ライツこくぶんじ図書資料室の利用方法 問い合わせ先: 042-573-4378

開室時間	月曜日から金曜日の午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで 土・日・祝日・ひかりプラザ休館日(原則第2・4月曜日)・年末年始(12/28~1/3)を除く
利用できる人	本を借りることができるのは、国分寺市に在住、在勤、在学、在活(ライツこくぶんじで相談・活動中の方を含む)の人です。
初めて図書等を借りる人は	「貸出登録票」に記入し、住所・氏名がわかるもの(保険証・免許証など)を提示してライツこくぶんじ職員に利用カードの発行申込みをしてください。 ライツこくぶんじ専用の図書資料室利用カードを発行します。
図書等を借りるには	借りたい図書などとライツこくぶんじ図書資料室利用カードを職員に提示してください。 図書は1人5冊まで、視聴覚資料(CD、DVD等)は1人2タイトルまで借りられ、貸出期間は2週間です。 【注意】市内図書館の利用カードでは貸出しできません。
返却方法	ライツこくぶんじ事務室が開いている時は、直接職員にお返しください。図書資料室開室時間外および休室日は、ひかりプラザ2階事務室入口横の返却ポストに入れてください。

日本のジェンダーギャップ指数 153か国中121位に転落（前回110位）

2019年12月7日、世界経済フォーラムが「ジェンダーギャップ指数（男女格差指数）」を発表しました。この指数は「経済」「健康」「教育」「政治」の4分野の総合で順位が決定します。

日本の順位は121位。前回の110位から、さらに順位を落とし、過去最低を記録しました。この順位は、主要先進7か国（アメリカ、日本、ド

イツ、フランス、イギリス、カナダ、イタリア）のなかで最低の順位であり、中国、韓国よりも低い順位です。

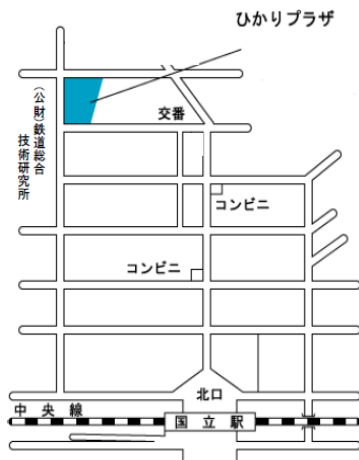
順位を下げる大きな要因となっているのは政治分野（144位）です。日本でも衆議院議員や閣僚の女性数が増えてはいるものの、世界的に女性の政治参画が進んでいるなかで、日本は取り残されている状況です。

ジェンダーギャップ指数の上位を占めるアイスランド、ノルウェー、フィンランドでは、クオータ制（女性の議員や会社役員を増やすため、一定数を割り当てる制度）を導入し、政治分野に限らず、民間企業においても、女性の活躍が推進されるよう取り組みを進めています。

なかでも、クオータ制発祥の国ノルウェーでは「パ・パ・クオータ制（最長54週間取得できる育児休暇のうち6週間は父親のみが取得できる制度）」が導入され、男性の育児休暇取得率が約90%と飛躍的に向上しています。

国分寺市立男女平等推進センター 相談室（無料相談）

- ◆女性のためのカウンセリング（予約制）
第2・4火曜日 午後1時30分～4時30分
- ◆女性法律相談（予約制）
第3木曜日 午後1時30分～4時30分
- ◆身近な人権相談（予約制）
第2木曜日 午後1時～4時
- ※実施週・曜日は原則
- *予約電話 042-573-4378
月～金 午前8時30分～午後5時（祝日・年末年始を除く）
- ◆女性の悩みごと相談（予約不要）
- ◆犯罪被害者等支援相談
月～金 午前9時～正午 午後1時～5時
（祝日・年末年始を除く）
- ※受付は午後4時まで
電話 042-573-4342



編集後記

知らないような日常の影に潜伏する男女差別。女性学やジェンダー論の本がそろっている図書資料室で読み、なるほどと思いました。外国の人も心ない言葉に傷つけられることがあるかもしれませんが、自分を信じて視野を広げ、くじけないでください。（一）

日本は島国なので単一民族だからよい、と勘違いしそうな浅はかな私ですが、山手線に乗ったときのこと。私のいた車両には、アジアの人々、欧米豪あたりの人が日本人より多くいました。ホッとしました。こんなに日本に来てくれるんですから私の住んでいる国もまんざら悪くもないのかな。もっとよくなりたいな。（二）

外国生活の大きな壁が「言葉」であることは分かっていました。インタビュに答えてくださったお二人はその壁を越えてきた日本に住む外国人。今回、課題が見えにくい結果となったのは、私たちがその壁を越えられなかったからだと思います。自身の姿勢が恥ずかしい。（三）

「あしあと」の梅田さんは、子どもの権利を守ることを生きがいとしてきただけではなく、人生は自分で切り開くものだと、子どもたちに伝えたかったのだと思います。『1945年のクリスマス』の筆者と共に信念の力強さを感じさせられました。（四）

日本語教室で各国の人たちが笑顔で、和気あいあいと語り、学んでいる姿は心がなごみました。国際協会の人がいわれた相互理解、相互互恵、平等をもとに、まっさらの人たちに声をかけましょう、を実行したいと思いました。（わ）



No.51

国分寺市立男女平等推進センター「ライツこくぶんじ」国分寺市市民生活部人権平和課 「ライツこくぶんじ」編集委員 池井有子・小松素子・今野美折・林博日・和田美登里
〒188-0034 東京都国分寺市光町1-46-8 ひかりプラザ2階 電話 042-573-4378 FAX 042-573-4388

※情報誌の編集に興味のある人へ「意見などある人はお問い合わせください。」